

令和8年度入学試験問題（後期日程）

小論文

理学部 物質地球科学科 地球環境系

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り間違えないように注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。
6. 解答する際の字体は楷書とし、ていねいに書くこと。

問 題

次の問題 及び に答えなさい。

日本は自然災害による被害をしばしば受ける。こうした災害に備える考え方として、「防災」と「減災」がある。「防災」とは、災害を未然に防ぎ、被害をゼロにすることを目指す。これに対して「減災」とは、災害の発生を前提とし、その被害を最小限に抑えることを目指す。以下の各問に答えなさい。

- 問1 自然災害の例を一つ挙げ、その災害に対する防災と減災の例を合わせて200字以内で説明しなさい。
- 問2 大学入学後に学びたい地球環境についての専門知識を、社会の中でどのように防災・減災に活かせるか、あなたの考えを400字以内で述べなさい。

2

沖縄在住の高校生、琉大太郎さんは、自由研究のテーマとして地球温暖化により海の環境がどれくらい変わっているのかを調べようと考えた。そこで気象庁のホームページから沖縄近海の海水温のデータ（1982年から2024年までの沖縄本島南海域の日別海面水温のデータ）を探し、図1のようにグラフにしてみた。以下の各問に答えなさい。

- 問1 このグラフから沖縄近海の海面水温の変動についてどのような特徴がみられるのか、200字以内で述べなさい。
- 問2 このデータから将来沖縄近海の海面水温や、海の環境や生態系がどうなると予想されるか、400字以内で述べなさい。

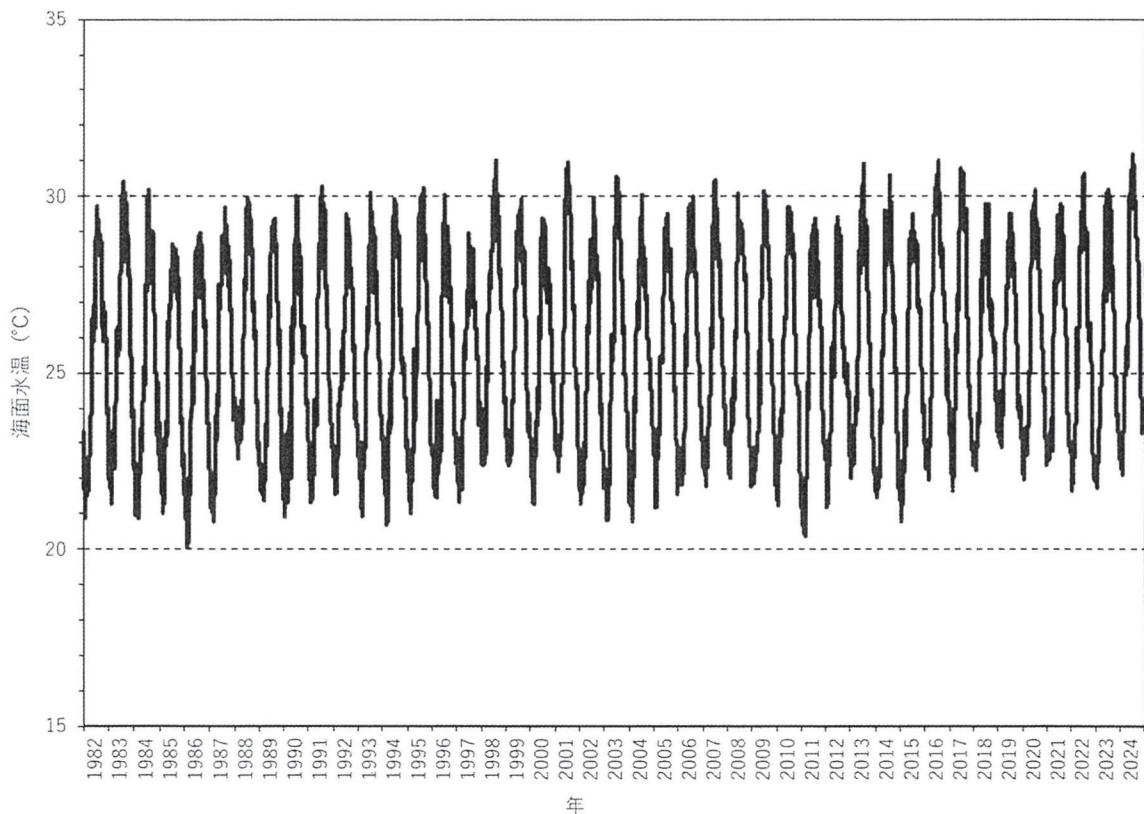


図1 1982年から2024年までの沖縄本島南海域における日別海面水温の変動

出典 気象庁（2025）「沿岸域の海面水温情報 沖縄本島南」

（<https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/data/db/kaikyo/series/engan/engan704.html>, 2025年閲覧）

令和8年度入学試験問題（後期日程）

小論文

理学部 物質地球科学科 地球環境系

出題の意図

地球環境系のアドミッション・ポリシーにおける求める学生像は、「地球環境系では地球と海洋に関する自然現象に興味をもち、意欲的に地球科学の知識を身に付け、探究心に富む人を求めています。特に熱帯・亜熱帯域の島弧や海洋で起きている自然現象に興味のある人を求めます。」である。このようなアドミッション・ポリシーの観点から、地球科学分野（宇宙を含む）に対する興味・関心度、探求心、データから特徴を読み取る能力、仮説と検証の思考プロセスを通じた問題解決能力をみる。文章を通しての論理性や表現力も評価の対象とする。